

# 1 総会に関する事項

平成26. 5. 26 午後2時から国立新美術館講堂において第77回定時総会を開催し、下記の事項を決定した。

- 審議事項
- 第1号議案 平成25年度事業報告承認の件
  - 第2号議案 平成25年度決算承認の件
  - 第3号議案 平成26年度事業計画書報告の件
  - 第4号議案 平成26年度収支予算書等報告の件
  - 第5号議案 定款の一部変更承認の件
  - 第6号議案 会員人事報告の件
  - 第7号議案 選定顧問報告の件
  - 第8号議案 理事・監事の改選承認の件

報告事項 日展規則の一部変更報告の件  
第45回日展巡回展開催報告の件 他

平成26. 7. 28 午後2時10分から国立新美術館講堂において第78回臨時総会を開催し、下記の事項を決定した。

- 審議事項
- 第1号議案 改革に伴う定款の一部変更承認の件
  - 第2号議案 選定顧問報告の件
  - 第3号議案 改革に伴う理事・監事の選任承認の件
  - 第4号議案 外部役員の報酬承認の件

報告事項 日展規則の一部変更報告の件

# 2 理事会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成26. 4. 25	第1回	1. 調査委員会の設置の件(本件承認決議については平成26年9月11日開催の第8回理事会において取り消し) 2. その他 内閣府公益認定等委員会による「報告要求」について 第77回定時総会日程について
平成26. 5. 26	第2回	1. 平成25年度事業報告および決算承認の件 2. 日展改革案に関する件 3. 定款の一部変更承認の件 4. 日展規則の一部変更承認の件 5. 選定顧問承認の件 6. 理事・監事の改選の件 7. 平成26年度日展開催要綱承認の件 8. その他 第二次第三者委員会の調査に関する報酬及び費用の支払いについて

		<p>日展改革検討委員会の改革案について意見を求める外部有識者について 報告事項</p> <p>理事長、副理事長及び常務理事の職務執行状況について</p> <p>退会者及び会友辞退者について</p>
平成26. 5. 26	第3回	<p>1. 理事長選定の件</p> <p>2. 副理事長選定の件</p>
平成26. 6. 30	第4回	<p>1. 日展改革案に関する件</p> <p>2. 調査委員会の調査結果の件(本件承認決議については平成26年9月11日開催の第8回理事会において取り消し)</p> <p>3. その他</p> <p>臨時総会日程について 報告事項</p> <p>会友辞退者について</p>
平成26. 7. 18	第5回	<p>1. 日展改革案に関する件</p> <p>役員に関する検討事項</p> <p>理事・監事候補者について</p> <p>副理事長及び常務理事の定数について</p> <p>最終改革案について</p> <p>審査員候補者選考委員会(仮称)の正式名称について</p> <p>2. 内閣府公益認定等委員会の報告要求の件</p> <p>3. その他</p> <p>外部審査員候補者の選考について</p>
平成26. 7. 28	第6回	<p>1. 最終改革案承認の件</p> <p>2. 改革に伴う定款の一部変更承認の件</p> <p>3. 改革に伴う日展規則の一部変更承認の件</p> <p>4. 改革に伴う理事・監事の件</p> <p>5. 選定顧問承認の件</p> <p>6. 改組 新 第1回日展審査員・係承認の件</p> <p>7. 出品委嘱者承認の件</p> <p>8. 改組 新 第1回日展開催要綱等承認の件</p> <p>9. その他</p>
平成26. 7. 28	第7回	<p>1. 理事長選定の件</p> <p>2. 副理事長選定の件</p> <p>3. その他</p>
平成26. 9. 11	第8回	<p>1. 内閣府公益認定等委員会の報告要求の件</p> <p>調査委員会の設置等に関する本法人の認識等について</p> <p>2. 改革案における各事項の詳細に関する件</p> <p>外部審査員について</p> <p>大臣賞・日展会員賞について</p> <p>審査監査室について</p> <p>全審査過程のビデオ撮影について</p> <p>審査員長に対する審査過程及び結果の報告について</p>

		諮問委員会（仮称）の設置について 外部役員の報酬について 3. その他 監事の業務監査の方法について 報告事項 平成29年度以降の国立新美術館の使用について 会友辞退者について 1. 日展会員賞選考会議の構成について 報告事項 内閣府公益認定等委員会の報告要求について 理事長、副理事長の職務執行状況について 会友辞退者について 他
平成26. 10. 30	第9回	
平成26. 10. 30	第10回	1. 諮問委員会（仮称）に関する件 2. 改組 新 第1回日展巡回展基本選定作品承認の件 3. 改組 新 第1回日展巡回展陳列指導役員承認の件 （書面理事会） 1. 諮問委員会の設置に関する件 （書面理事会） 1. 巡回展大阪会場の開催に関する件
平成26. 11. 22	第11回	2. 役員等の旅費規程に関する件
平成26. 12. 22	第12回	1. 平成27年度日展 展覧会名称の件 2. 平成27年度日展 観覧時間および入場料金承認の件 3. 平成27年度日展 出品手数料承認の件 4. 平成27年度事業計画書及び収支予算書等に関する件
平成27. 3. 25	第13回	5. 会員人事承認の件 6. 会友人事承認の件 7. 日展規則の一部変更承認の件 8. 準会員の設置承認の件 9. 平成27年度日展 オープニング・パーティー承認の件 10. 平成27年度日展巡回日程(案)承認の件 11. 定時総会の日程承認の件 12. 日展改革案実施状況と今後の確認事項の件 13. その他 報告事項 平成29年度以降の国立新美術館の使用について 他

### 3 監事会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成26. 5. 26	第1回	1. 平成25年度事業報告および決算承認の件

#### 4 評議員協議会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成26. 5. 26	第 1 回	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成25年度事業報告に関する件</li> <li>2. 平成25年度決算に関する件</li> <li>3. 出品委嘱者承認の件</li> <li>4. 平成26年度日展開催要綱承認の件</li> <li>5. 定款の一部変更に関する件</li> <li>6. 会員人事に関する件</li> <li>7. 選定顧問に関する件</li> <li>8. 理事・監事の改選に関する件</li> <li>9. 新会友に関する件</li> </ol>
平成26. 7. 28	第 2 回	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 改革に伴う定款の一部変更に関する件</li> <li>2. 改革に伴う日展規則の一部変更に関する件</li> <li>3. 出品委嘱者承認の件</li> <li>4. 改組 新 第1回日展開催要綱等承認の件</li> <li>5. 選定顧問に関する件</li> <li>6. 改革に伴う理事・監事の選任に関する件</li> </ol>

#### 5 審査員候補者推薦委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成26. 7. 18	第 1 回	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 審査員候補者推薦委員会の名称の件</li> <li>2. 審査員候補者推薦委員会の構成の件</li> <li>3. 審査員候補者の選考承認の件</li> </ol>

## 6 係(展覧会)会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成26. 8. 8	第1回	1. 展示室 各科割り振りに関する件 2. 入場料金承認の件 3. 特別入場券販売促進に関する件 4. 「日展目録」表紙承認の件 5. 入場券原画承認の件 6. 招待状・資格証・優待証承認の件 7. 各科審査員打合せ会承認の件 8. 係アシスト承認の件 9. 出品者懇親会承認の件 10. 事務日程に関する件 11. 各科展覧会の記録に関する件 12. その他

## 7 審査員総会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成26. 10. 1	第1回	1. 各科審査主任承認の件 2. 審査に関する規則等の確認、審査方針承認の件

## 8 日展会員賞選考委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成26. 10. 30	第1回	1. 日展会員賞の件

## 9 巡回日展打合せ会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成26. 11. 20	第1回	1. 改組 新 第1回巡回展開催要綱等報告の件 (開催者との打合せ会)

## 10 委員会等に関する事項

### 委員の就退任に関する事項

平成26. 10. 30 平成26年度第10回理事会において、日展改革検討委員会については、平成26年7月の理事会への改革案提出をもってその役割を終えたものとし、解散することを承認した。

平成26. 11. 22 平成26年度第11回(書面)理事会において下記委員会の設置を決定し委員を選任した。

#### [諮問委員会]

##### (外部委員)

黒川 廣子 (東京藝術大学 美術館 美術情報研究室 准教授)

滝 久雄 (株式会社NKB取締役会長・株式会社ぐるなび代表取締役会長)

富田 章 (東京ステーションギャラリー館長)

富田 淳 (東京国立博物館 学芸研究部列品管理課長)

羽入佐和子 (お茶の水女子大学学長)

松村満美子 (元NHKアナウンサー・ジャーナリスト)

八 牧 暢 行 (J X日鉱日石金属株式会社取締役 副社長執行役員)

##### (内部委員)

川崎麻児 樋口 洋 山崎茂樹 大樋年雄 中村伸夫

平成27. 5. 13 平成27年度第1回理事会において下記委員会の新委員を選考した。

(平成27～28年度委員)

#### [日展ニュース委員会]

上田勝也 山下保子 斎藤秀夫 根岸右司 中原篤徳 堀内秀雄

河野榮一 木下五郎 高木厚人 高木聖雨

#### [出版委員会]

市原義之 森脇正人 磯崎俊光 大友義博 堤 直美 村井良樹

相武常雄 月岡裕二 角元正燦 土橋靖子

#### [広報委員会]

東 俊行 渡辺信喜 小灘一紀 丸山 勉 江里敏明 山崎茂樹

並木恒延 三田村有純 一色白泉 真神巍堂

## 日展改革検討委員会

平成26年度における会合は5回開催

(第5回)平26.4.9・(第6回)5.8・(第7回)5.13・(第8回)6.25・(第9回)7.22

主な審議事項

1. 第二次第三者委員会の報告書に対する対応措置の検討を行った。(第5回)
2. 第三者委員会の報告書に対する対応措置として、理事会において方針を決定した事項、日展改革検討委員会の答申事項について説明し、確認した。(第5回)
3. 日展改革案について意見をいただく外部有識者8名について報告した。(第5回)
4. 日展改革案に関する有識者会議(平成26年4月25日開催)における各種意見について説明、確認し、対応措置について意見交換を行った。(第6回)
5. 外部有識者との合同会議を開催し、前回委員会での検討結果を外部有識者に説明した上で意見交換を行い、一般社会に認められるよう改革を進めることを確認した。(第7回)
6. 前回に引き続き、外部有識者との合同会議を開催し、文化庁の意見も踏まえ、第三者委員会及び第二次第三者委員会報告書の提言や外部有識者の意見への対応について再検討を行った。(第8回)
7. 改革案における審査員の選任方法に関し、具体案の検討を行った。(第8回)
8. 外部有識者との合同会議を開催し、最終改革案の確認を行った。(第9回)

## 諮問委員会

平成26年度における会合は1回開催

(第1回)平27.1.8

主な審議事項

1. 委員の互選により議長・副議長を選出した。(第1回)
2. 日展改革案とその取り組み結果について、事務局より委員に説明があり、今回の取り組み結果に対し諮問委員会がどのような評価をするか、という観点から意見交換を行った。(第1回)

なお、諮問委員会の開催に先立ち、平成26年12月19日、理事長・副理事長の指名による下記メンバー出席のもと、改組新第1回日展の審査を振り返っての反省点や改革の成果、今後の課題等についての意見交換会を開催した。

奥田小由女 土屋 禮一 藤森兼明 能島征二 谷 福丸  
福田千恵 川崎麻児 寺久保文宣 町田博文 江里敏明 山田朝彦  
宮田亮平 春山文典 杭迫柏樹 星 弘道

## 日展ニュース委員会

平成26年度における会合は5回開催

(第1回)平26.6.13・(第2回)9.12・(第3回)11.21・(第4回)12.3・(第5回)平27.2.4

主な審議事項

1. ニュース153号の発行日について検討した。(第1回)
2. ニュース153号の寄稿文(各科地方在住入選者1名 計5名/「日展ゆかりの美術館散策」シリーズ2館)の校正を行った。(第1回)
3. ニュース153・154号の掲載内容を検討、決定した。(第1回・第2回)
4. ニュース154号の寄稿文(美術評論家4名/各科審査主任1名 計5名)の校正を行った。(第2回)

5. ニュース155号の座談会のテーマ(「改組 新 第1回日展審査を終えて—明日への期待—」)を決定し、出席者の人選等を検討した。(第2回)
6. ニュース155号の座談会を開催し、編集企画を検討、決定した。(第3回)
7. ニュース155号(座談会)の校正を行った。(第4回)
8. ニュース156号の企画(各科ベテラン審査員及び新審査員の寄稿/新入選者の寄稿/ワンダーアート10年目/「日展ゆかりの美術館散策」シリーズ)等、掲載内容について検討した。(第4回)
9. ニュース156号の寄稿文(各科ベテラン審査員及び新審査員 計15名/各科新入選者3～9名 計30名/ワンダーアート10年を振り返って/「日展ゆかりの美術館散策」シリーズ2館)の校正を行った。(第5回)
10. ニュース156号の掲載内容を検討、決定した。(第5回)

## 出版委員会

平成26年度における会合は2回開催

(第1回)平26. 8. 29・(第2回) 10. 30

主な審議事項

1. 出版物の掲載順を決定した。(第1回)
2. 各出版物の表紙、掲載作家、内容等を決定した。(第1回)
3. 改組 新 第1回日展刊行物の発注業者、仕入・販売価格、印刷部数等を決定した。(第1回)
4. 「日展作品集」の初版について、色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)
5. 「日展アートガイド」の色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)
6. 「日展図録(日)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)
7. 「日展図録(洋)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)
8. 「日展図録(彫)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)
9. 「日展図録(工)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)
10. 「日展図録(書)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)

## 広報委員会

平成26年度における会合は4回開催

(第1回)平26. 4. 26・(第2回) 6. 30・(第3回) 9. 26・(第4回)平27. 3. 25

主な審議事項

1. 改組 新 第1回日展告知キャンペーンの基本方針を確認、実施内容を検討した。(第1回)
2. 改組 新 第1回日展告知キャンペーンの進行状況を確認した。(第2回・第3回)
3. 各種ポスターの色、レイアウトを検討した。(第1回・第2回)
4. オープニング・パーティーの実施内容を検討した。(第1回・第2回・第3回)
5. オープニング・パーティーの会場を下見し、実施内容の細部打合せをした。(第3回)
6. 特別入場券の販売促進計画を承認した。(第1回)
7. 講演会・映像による作品解説について検討した。(第1回・第2回)
8. シンポジウムについて検討した(第2回)
9. 改組 新 第1回日展の企画案について検討した。(第3回)
10. 平成26年度の広報活動(告知キャンペーンを含む)の実施内容および実績について報告、問題点を検討した。(第4回)

11. 平成27年度の告知キャンペーンの基本方針について検討した。(第4回)
12. 「鑑賞プロジェクトチーム」の平成26年度の活動内容を報告した。(第4回)

- 「鑑賞プロジェクトチーム」平成26年度における会合は2回開催  
(第1回)平26. 5. 8・(第2回) 11. 23 (※任意)

主な審議事項

1. 平成26年度の実施内容(夏休み1日ART体験「Oneday Art」、親子鑑賞教室、スクールプログラム等)を検討した。(第1回)
2. 平成26年度の反省点をまとめた。(第2回)

# 11 「日本美術展覧会」の開催

## 改組 新 第1回日本美術展覧会

1. 会 期 平成26年10月31日より12月7日まで 33日間

〔休 館 日〕 毎週火曜日

〔観覧時間〕 午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで)

11月12日(水)は「日展の日」 入場無料

2. 会 場 国立新美術館(東京都港区六本木7-22-2)

3. 応募点数並びに入選点数

( ) 前年度比

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書	合計
応募点数	491 (-36)	1,996 (-140)	155 (-16)	796 (-60)	9,200 (-1,029)	12,638 (-1,281)
入選点数	205 (+1)	640 (+76)	104 (-16)	396 (-100)	943 (-31)	2,288 (-70)
新入選点数	28 (+6)	66 (+1)	8 (-4)	24 (-22)	274 (+118)	400 (+99)

新入選点数は入選点数を含む。

4. 陳列点数

( ) 前年度比

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書	合計
入 選	205 (+1)	640 (+76)	104 (-16)	396 (-100)	943 (-31)	2,288 (-70)
無 鑑 査	142 (±0)	128 (-3)	163 (+2)	136 (-4)	140 (+1)	709 (-4)
計	347 (+1)	768 (+73)	267 (-14)	532 (-104)	1,083 (-30)	2,997 (-74)

無鑑査＝顧問・役員・会員・新審査員・出品委嘱者・前年度特選受賞者

5. 審査員および係

審査員長(理事長) 奥田小由女

◎印 審査主任

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書
審査員	尾崎 正明 小松 弥生	宝木 範義 南 薫 宏 本江 邦夫	浅野 徹 市川 政憲 中山 典夫	秋元 雄史 尾崎 眞人 諸山 正則	神崎 充晴 島谷 弘幸 菅原 教夫
	岩倉 寿 ◎福田 千恵 能島 和明 岡村 倫行 川崎 麻児 岸野 圭作 丹羽 貴子 森脇 正人 亀山 祐介 河村 源三 中村 賢次 平尾 秀明 鶴飼 雅樹 高田 淑子 野田 夕希 山本 隆 吉田 千恵	◎藤森 兼明 伊藤 晴子 松田 茂 三原 捷宏 井上 武 大谷 喜男 北本 雅己 立花 博 寺久保文宣 歳嶋洋一朗 西田 伸一 町田 博文 山名 将夫 加藤 寛美 工藤 道汪 古賀 英治 福井 欧夏	◎山本 眞輔 石原 昌一 江里 敏明 松田 裕康 山瀬 晋吾 宇津 孝志 小野 啓亘 堀内 秀雄 村山 哲 山崎 茂樹 吉村 政美 伊庭 靖二 川田 良樹 九後 稔 田丸 稔 堀 龍太郎 槇野 仁一	◎宮田 亮平 井隼 慶人 山岸 大成 大樋 年雄 司辻 光男 叶 道夫 沓沢 則雄 志観寺範從 藏樂 瑞恵 高津 明美 永澤 永信 西山 邦彦 古見 準士 伯耆 正一 小林 英夫 角 康二 待田 和宏	新井 光風 井茂 圭洞 ◎杭迫 柏樹 星 弘道 鈴木 春朝 藤岡 都逕 横山 煌平 田頭 一舟 原田 玉童 日比野 実 三岡 天邑 尾崎 蒼石 鬼頭 翔雲 田中 徹夫 堂本 雅人 山本 高邨 吉澤 大淳

○印 係主任

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書
係	岡村 倫行 ○川崎 麻児 岸野 圭作 丹羽 貴子 森脇 正人 亀山 祐介 河村 源三 中村 賢次 平尾 秀明 鶴飼 雅樹 高田 淑子 野田 夕希 山本 隆 吉田 千恵	井上 武 大谷 喜男 北本 雅己 立花 博 ◎寺久保文宣 歳嶋洋一朗 西田 伸一 町田 博文 山名 将夫 加藤 寛美 工藤 道汪 古賀 英治 福井 欧夏	石原 昌一 ○江里 敏明 松田 裕康 山瀬 晋吾 宇津 孝志 小野 啓亘 堀内 秀雄 村山 哲 山崎 茂樹 吉村 政美 伊庭 靖二 川田 良樹 九後 稔 田丸 稔 堀 龍太郎 槇野 仁一	井隼 慶人 ○山岸 大成 大樋 年雄 司辻 光男 叶 道夫 沓沢 則雄 志観寺範從 藏樂 瑞恵 高津 明美 永澤 永信 西山 邦彦 古見 準士 伯耆 正一 小林 英夫 角 康二 待田 和宏	○星 弘道 鈴木 春朝 藤岡 都逕 横山 煌平 田頭 一舟 原田 玉童 日比野 実 三岡 天邑 尾崎 蒼石 鬼頭 翔雲 田中 徹夫 堂本 雅人 山本 高邨 吉澤 大淳

6. 授 賞

大 臣 賞 (申請見送り)

日展会員賞	第1科	河村 源三	風の音
	第2科	大谷 喜男	路
	第3科	江里 敏明	夢 幻
	第4科	三田村有純	炎立つ
	第5科	吉澤 鐵之	災後三年五浦有感

特 選

第1科	生島 潔	It goes on-時間は続いてゆく	桑野むつ子	想 花
	佐藤 淳	界	佐藤和歌子	フェンリルの鎖
	棚町 宜弘	狭間、冬陽差す	谷川 将樹	間合いの中に
	谷野 剛史	宴	西出 茂弘	木漏れ日
	藤本理恵子	バイソンの森にて		
第2科	伊藤 寿雄	母の像	河本 昭政	女
	児島新太郎	静 謐	佐渡 一清	兆
	田中 里奈	大地の主	ナカジマカツ	真贋の扉
	中島 健太	After Dark	錦織 重治	白き朝・赤岳
	西谷 之男	堂ヶ谷池新緑	福田あさ子	瞬 く
第3科	井上周一郎	羽 化	元田 木山	スタートの朝
	坂本 健	奪われた十の言葉	白石 恵里	交差する海流
	鈴木紹陶武	ひつじとねむり	高砂 晴光	ゆく夏
	中口 一也	清 流	廣川 政和	流れる雲
	二塚佳永子	夢		
第4科	青木 洋介	守箱一胡蜂一	喜多 浩介	渴きの惑星
	高坂嘉津幸	円の位相	武田 司	繋 ぐ
	田中 嘉生	卯月の頃II	手銭 吾郎	flexible
	西本 直文	玄生「翔」	早瀬 郁恵	霞立ツ
	本間 秀昭	流紋一2014	山元 健司	ナチュラル
第5科	足立 光嶽	言志四録一節	石坂 雅彦	杜甫詩七言二句
	井谷 五雲	身慕肥遯	倉橋 奇艸	實 盛
	鈴木 赫鳳	李白詩	竹内 勢雲	一罇の天
	中村 天馨	天ぞかる	深瀬 裕之	念 ひ
	森上 光月	梅の花	吉澤 石琥	大林寺桃花

7. 入場者数 合計135,055人

( ) 前年度比

有 料	入場者数(人)	無 料	入場者数(人)
一 般 券	9,870 (-970)	招 待 券	50,516 (-8,329)
学 生 券	620 (-5)	美 術 学 生 券	688 (-46)
トワイライトチケット ( 一 般 )	4,387 (+60)	小中学生無料鑑賞券	6,304 (-131)
トワイライトチケット ( 学 生 )	368 (-170)	資 格 証	23,838 (+1,530)
一般券(場外売)	3,853 (-540)	優 待 証	3,936 (+763)
一 般 団 体 券	3,558 (-1,131)	美術家連盟・評論家連盟	1,223 (+14)
学生団体[高・大]券	657 (-610)		
一 般 前 売 券	2,102 (-948)		
学生前売[高・大]券	37 (+6)		
特 別 入 場 券	17,962 (-1,429)		
新聞販売店用チケット	5,136 (-5,724)		
計	48,550 (-11,461)	計	86,505 (-6,199)

月日	曜日	入場者数(人)	月日	曜日	入場者数(人)	月日	曜日	入場者数(人)
10/30	木	4,722	11/12	水	(日展の日) 9,901	11/25	火	休館日
10/31	金	7,204	11/13	木	3,191	11/26	水	3,112
11/1	土	3,462	11/14	金	2,743	11/27	木	4,345
11/2	日	3,211	11/15	土	3,284	11/28	金	3,942
11/3	月・祝	3,070	11/16	日	3,528	11/29	土	4,434
11/4	火	休館日	11/17	月	3,087	11/30	日	4,821
11/5	水	2,809	11/18	火	休館日	12/1	月	3,453
11/6	木	2,137	11/19	水	3,877	12/2	火	休館日
11/7	金	2,369	11/20	木	3,562	12/3	水	4,639
11/8	土	2,679	11/21	金	3,448	12/4	木	3,781
11/9	日	2,617	11/22	土	4,153	12/5	金	4,480
11/10	月	2,392	11/23	日・祝	5,066	12/6	土	5,290
11/11	火	休館日	11/24	月・休	4,459	12/7	日	5,787

※10/30は出陳者内覧会

## 巡回日展

第45回展分を3会場、改組新第1回展分を3会場、計6会場で開催。

	開催地	開催期間	会場	開催者	入場者数(人)
第45回展	米子	H26. 4. 19～H26. 5. 18	米子市美術館	新日本海新聞社	25,044
	金沢	5. 24～ 6. 15	石川県立美術館	北國新聞社	32,127
	福岡	6. 21～ 7. 13	福岡市美術館	西日本新聞社	19,583
改組新第1回展	京都	H26. 12. 13～H27. 1. 18	京都市美術館	京都市美術館 京都新聞社	32,872
	名古屋	H27. 1. 28～ 2. 15	愛知県美術館ギャラリー	中日新聞社	55,262
	大阪	2. 21～ 3. 22	大阪市立美術館	大阪市立美術館 公益社団法人日展	46,744

## 12 美術に関する講演会及び講習会の開催

### 講演会・映像による作品解説

美術評論家が「日展」の各部門について語る。また、日展作家が映像を使って出品作品をわかりやすく解説。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展  
場所 国立新美術館 3階 講堂(入場無料)

	講演会		映像による作品解説	
11月 1日 (土)	午後 1:30～ 2:10	「日展の日本画」 多摩美術大学教授 本江邦夫氏	午後 2:20～ 3:20	「日本画」 中村賢次 松崎十朗
11月 3日 (月・祝)	午後 1:30～ 2:10	「日展の洋画」 美術評論家 千足伸行氏	午後 2:20～ 3:20	「洋画」 樋口 洋 桑原富一
11月 8日 (土)	午後 1:30～ 2:10	「日展の彫刻」 筑波大学名誉教授 中山典夫氏	午後 2:20～ 3:20	「彫刻」 上田久利 宇津孝志 清家 悟
11月15日 (土)	午後 1:30～ 2:10	「日展の工芸美術」 秋田公立美術大学 学長 樋田豊次郎氏	午後 2:20～ 3:20	「工芸美術」 中村武郎 三田村有純 河野榮一
11月22日 (土)	午後 1:30～ 2:10	「日展の書」 読売新聞東京本社編集委員 菅原教夫氏	午後 2:20～ 3:20	「書」 新井光風 横山煌平 尾崎蒼石
11月29日 (土)			午後 1:30～ 2:30 2:40～ 3:40	「日本画」 大豊世紀 水野 収 「洋画」 伊藤晴子 歳嶋洋一朗
11月30日 (日)			午後 12:30～ 1:30 1:40～ 2:40 2:50～ 3:50	「彫刻」 石田陽介 竹谷邦夫 谷口淳一 「工芸美術」 赤堀郁彦 加藤令吉 相武常雄 「書」 藤岡都逕 田頭一舟 原田玉童

○上記の他、11月12日(水)「日展の日」に特別対談を開催した。

・午後1時30分～3時

ゲスト 作家 夢枕 獯氏  
一般社団法人 日本作曲家協議会 会長 松下 功氏  
ナビゲーター 宮田亮平

※総参加人数 2,126名 (特別対談含む)

## らくらく鑑賞会

出品作家達とゆっくり全科のダイジェストを鑑賞する。自己紹介から始まり、昼食や休憩などはさみながら、鑑賞者が、作家、作品と1歩近づいて、展覧会を楽しむ。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館(日展会場)

	日本画	洋画	彫刻	昼食	書	工芸美術
	午前10:45～	午前11:30～	午後12:15～	午後12:50～	午後2:00～	午後2:45～
11月5日 (水)	野田夕希	町田博文	野原昌代		星 弘道	待田和宏
11月17日 (月)	河村源三	池田良則	亀谷政代司		清水透石	藏樂瑞恵
11月26日 (月)	由里本 出	稲葉徹應	原田治展		一色白泉	叶 道夫
12月1日 (月)	東 俊行	斎藤秀夫	山田朝彦		関 吾心	永澤永信

◆参加人数・・・25名（会期中の4日間、全4回）

〃（特別編※団体向け）・・・24名（11/7・19）

○上記プログラムの他に、団体との共同企画により以下の日程で鑑賞会を実施した。

主催 全日空社友会 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館(日展会場)

	午前11:00～	午前11:45～	午後12:30～	午後1:40～
11月7日 (金)	川崎麻児 (日本画)	桑原富一 (洋画)	昼食	(自由鑑賞)
11月19日 (水)	市原義之 (日本画)	寺久保文宣 (洋画)	昼食	(自由鑑賞)

※総参加人数 24名

## ニ 解説会

一人からでも解説が受けられる。来館時、好きな部門に申し込みをすれば、少人数の解説会に参加できる。

開催日程 改組 新 第1回日展会期中の平日（土・日・祝日・初日、11月12日を除く）

午後1時30分～ 30分程度。

定員 各部門20名（5部門）

◆参加人数・・・826名参加（17日間）

## 13 美術鑑賞及び創作に関する体験講座等の開催

### アートスクール

イベントスペースを利用し、「日展アートスクール」を下記日程で開講。(有料)

指導：谷口勇三(日展会友)

- ① 日展アートスクール21 「はじめての陶芸」  
平成26年4月～6月 合計6回開講
- ② 日展アートスクール22 「はじめての陶芸」  
平成26年7月～9月 合計6回開講
- ③ 日展アートスクール23 「はじめての陶芸」  
平成27年1月～3月 合計6回開講

### 親子鑑賞教室

日展鑑賞を通じて“親子で一緒に感じる、考える、話す”時間を持ち、作品との出会い、発見などの体験を共有する。素材体験から鑑賞まで。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展

後援 心の東京革命推進協議会(青少年育成協会)

場所 国立新美術館 3階 講堂・研修室

		指 導 者				
		日本画	洋 画	彫 刻	工芸美術	書
11月9日 (日)	午前 10:30～	中村文子 亀山祐介 川田恭子 鶴飼雅樹	天野富美男 井上 武 渡邊 明			高木厚人 高木聖雨 河野 隆
	午後 2:00～			(デモンストレーション) 宇津孝志 (指導) 山田朝彦 中村優子 堀内秀雄 山崎茂樹 (サポート) 石黒光二 野原昌代 吉岡 徹 寺山三佳	加藤令吉 林 香君 谷口勇三 (サポート) 谷口直之 村越郁夫 森田高正	

11月16日 (日)	午前 10:30～	南 聡 能島浜江 岩田壮平 大西守博	丸山 勉 菊池元男 栗原高光			清水透石 牛窪梧十 綿引滔天
	午後 2:00～			(デモンストレーション) 小野啓亘 (指導) 山田朝彦 中村優子 堀内秀雄 山崎茂樹 (サポート) 原田治展 村山 哲 吉岡 徹 寺山三佳	月岡裕二 相武常雄 古見準士 西片 正 海内 保	
11月23日 (日・祝)	午前 10:30～	古澤洋子 松崎十朗 諸星美喜	田辺知治 倉林愛二郎 星川登美子 前原喜好			海野濤山 師田久子 遠藤 彊
	午後 2:00～			(デモンストレーション) 田丸 稔 (指導) 山田朝彦 中村優子 堀内秀雄 山崎茂樹 (サポート) 石黒光二 原田治展 村山 哲 野原昌代 吉岡 徹	吉水絹代 横山喜八郎 (サポート) 出居麻美 吉川眞理	

◎総参加人数 82 組 224 名

## 夏休み1日ART体験「第10回 Oneday Art」

「作品をつくる」体験をし、作品や作家とのかかわりを通して多様な世界観を学んでほしい—  
という日展の芸術文化普及活動。

今回は10回記念として、全部門、全員参加の共同企画「Piece(ピース)！～15cmの世界から」を  
実施した。制作した作品は鑑賞プロジェクトチームの指導のもとに陳列、8月20日から8月24日ま  
で日展会館において展示した。参加者以外にも一般の鑑賞者、日展会員などたくさんの方が訪れ  
た。

※共同企画の作品は、この他日展会場、パブリックスペースでも展示。

主催 公益社団法人 日展

後援 台東区教育委員会 荒川区教育委員会 心の東京革命推進協議会(青少年育成協会)

場所 日展会館・イベントスペース 他

		指導作家	時間	参加人数	内 容
7月24日 (木)	工芸美術 (陶芸) ①AM ②PM	加藤令吉 林 香君 谷口勇三 (サポート) 井上英基 村越郁夫 谷口直之 大島 徹 床井健一	①10:00 ～ 12:00 ②14:00 ～ 16:00	56 組 107名 (32組54 名・24組 53名)	・「香りのうつわ」 ●陶芸に関する基礎知識。 ●陶器用の粘土で、基本的な技法を学びながら造形。 参考作品を見て、出来上がりをイメージ。 アロマポットや蚊取り線香入れなど、目的に応じた形を意識して完成させる。 ●作品は、(後日)乾燥後釉薬をかけ、焼成。担当作家による仕上げ、最終チェック。
8月1日 (金)	工芸美術 (染)	上原利丸 安藤タツ子 明石研一 出居麻美 (サポート) 相武常雄 月岡裕二	13:00 ～ 16:00	24組 43名	・「変身てぬぐいを染めよう」 ●告知時より画像イメージで参考作品を提示し、参加者には予め出来上がりのイメージを考えてきてもらう。 ●染色の表現の方法、染料の種類を説明。1色目と2色目の関係。 ●絞った所が白くなることをイメージして、板や割りばし、ビー玉や輪ゴムなどを使い絞る。 水につけた後、染料で染め→水洗いの工程を、色を変えて2回繰り返す。広げて干す。※空気に触れて発色 ●講評。
8月2日 (土)	日本画	亀山祐介 川田恭子 能島浜江 松崎十朗 岩田壮平 (サポート) 米谷清和	13:00 ～ 16:00	27組 52名	・「掛軸に挑戦！」 ～色紙に描いた日本画を軸装風にデザインしてみよう～ ●作品例を見せながら日本画の特徴を説明。 ●画材(岩絵具や麻紙)や、日本画の基本的な技法に関する知識。 ●掛軸の構造、制作の工程を説明。 金・銀の色紙に岩絵具で絵を描き、乾かす。 掛軸のパーツ(風帯や一文字など)を揃え、掛軸の形式にそって作っていく。 ●作家のデモンストレーション ●自然の色の美しさと調和を実感してもらう。 ●実際に岩絵具と膠を指で溶き、描いてみる。独特の質感を楽しむ。
8月4日 (月)	洋画	成田禎介 田辺知治 丸山 勉 大友義博 難波 滋 星川登美子 茅野吉孝	10:30 ～ 16:00	26組 45名	・『谷・根・干を描こう!』(油彩・水彩) ●午前はF4のキャンバスボードと水彩の画材を持って、寛永寺周辺でスケッチ。 ●午後はスケッチを基に油彩で着色。 ●作家のデモンストレーション ●油彩画の特徴 油絵具の使い方 ●描きあがった作品にサインを入れる。 ●講評。
8月5日 (火)	彫刻	山田朝彦 堀内秀雄 山崎茂樹 (サポート) 石黒光二 原田治展 野原昌代 村山 哲 中原篤徳 吉岡 徹 寺山三佳 加山総子 宮坂慎司	13:00 ～ 16:00	34組 63名	・「夢のかたち」—彫刻に挑戦!— ●彫刻に関する基礎知識。 ●(子供)木の土台と石膏、紙粘土による制作 「夢」をイメージして作る。台座と心棒の間に、風船と針金で形をつくった石膏の造形を固定。その上にアルミ線の心棒と紙粘土の「夢のかたち」をジョイントさせる。 ●講評。 (保護者)約10cm位の我が子の横顔のレリーフ ●作品は、乾燥させて固めた後、焼成、額装する。
8月6日 (水)	書	高木聖雨 師田久子 遠藤 彊 大平匡昭	13:00 ～ 16:00	22組 38名	・「書でパズルを作ろう！」 ●書に関する基礎知識。 ●書く文字を決めて半紙で練習。白無地のパズルに文字を書く。篆刻で制作した印を押す。 いろいろな筆、彩墨の組み合わせや墨の濃淡を試してみる。 ●大きい紙(全紙)に大きな筆で詩を書いてみる。 ●墨作り職人の実演。練った墨玉を握って、握り墨を体験。

◎総参加人数 189組 348名

## 14 研究冊子及び図書の刊行

### 出版企画実施内容（平成26年度中に刊行または印刷）

#### 改組 新 第1回日展目録

- [判 型] B5判（タテ18.2cm×ヨコ25.8cm）56頁  
[発行日] 平成26年10月31日  
[発行部数] 12,000部  
[定 価] 200円 [税込]  
[内 容] 東京会場全陳列作品題名および作家名・現住都道府県名を掲載  
授賞理由（日展会員賞・特選）等諸資料収録  
[表 紙] 藤森兼明

#### 改組 新 第1回日展作品集

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）184頁 600点掲載  
[発行日] 平成26年10月31日  
[発行部数] 6,500部  
[定 価] 3,000円 [税込]  
[内 容] 全会員・審査員・受賞者の出品作品をオールカラーで収録  
[表 紙] 奥田小由女（出品作）  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

#### 改組 新 第1回日展アートガイド ―作家のことば―

- [判 型] A5判変型（タテ22cm×ヨコ15cm）220頁 370点掲載  
[発行日] 平成26年11月5日  
[発行部数] 5,500部  
[定 価] 1,000円 [税込]  
[内 容] ■主要作品をオールカラーで収録、作家本人による作品解説付  
■部門別解説 日本画―小松弥生氏、洋画―本江邦夫氏、彫刻―中山典夫氏、  
工芸美術―秋元雄史氏、書―島谷弘幸氏  
■授賞理由（日展会員賞・特選）、材質表記（彫刻）、技法説明および各作品の  
技法表記（工芸美術）、作品の類別とその特質解説および釈文（書）、巡回展  
日程等資料、作家索引を掲載  
[表 紙] 森野泰明（出品作）  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

#### 改組 新 第1回日展図録（日本画）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）78頁 347点掲載  
[発行日] 平成26年11月5日  
[発行部数] 3,600部  
[定 価] 3,200円 [税込]  
[内 容] 日本画部門の全陳列作品をオールカラーで収録 作家名・作品題名（読み仮名付）、  
作品寸法、審査所感、諸資料掲載  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

#### 改組 新 第1回日展図録（洋画）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）154頁 768点掲載  
[発行日] 平成26年11月5日  
[発行部数] 6,000部  
[定 価] 3,200円 [税込]  
[内 容] 洋画部門の全陳列作品をオールカラーで収録 作家名・作品題名（読み仮名付）、  
作品寸法、審査所感、諸資料掲載  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

#### 改組 新 第1回日展図録（彫刻）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）68頁 267点掲載  
[発行日] 平成26年11月5日  
[発行部数] 1,100部  
[定 価] 3,200円 [税込]  
[内 容] 彫刻部門の全陳列作品をオールカラーで収録 作家名・作品題名（読み仮名付）、  
作品寸法、審査所感、諸資料掲載  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

#### 改組 新 第1回日展図録（工芸美術）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）114頁 532点掲載  
[発行日] 平成26年11月5日  
[発行部数] 2,500部  
[定 価] 3,200円 [税込]  
[内 容] 工芸美術部門の全陳列作品をオールカラーで収録 作家名・作品題名（読み仮名  
付）、作品寸法、技法表記、審査所感、諸資料掲載  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

#### 改組 新 第1回日展図録（書）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）188頁 カラー175点、モノクロ908点、  
合計1,083点掲載  
[発行日] 平成26年11月5日  
[発行部数] 4,100部  
[定 価] 3,200円 [税込]  
[内 容] 書部門の全陳列作品を会員以上と新審査員はカラー、てん刻は朱色、他はモノク  
ロで収録 作家名・作品題名（読み仮名付）、作品寸法、審査所感、諸資料掲載  
[製 作] 富士美術印刷株式会社

#### 絵はがき

- [判 型] はがきサイズ（10.5cm×15cm）  
[定 価] 500枚単位—27,000円[税込]（売店販売定価1枚—100円[税込]）  
[製 作] 有限会社旭プロセス製版、有限会社藝林社、ニューカラー写真印刷株式会社、  
富士美術印刷株式会社、日展

#### カラー写真

- [判 型] 2Eサイズ（10.7cm×15.3cm）  
[定 価] 10枚単位—6,000円[税込]（売店販売定価1枚—350円[税込]）  
[製 作] 株式会社アートデザインセンター

## 白黒写真

[判 型] はがきサイズ (10.5cm×14.5cm)  
[定 価] 20枚単位—6,000円[税込] (売店販売定価1枚—350円[税込])  
[製 作] 株式会社アートデザインセンター

## 日展ニュースの発行

第153号	平成26年 9月10日発行	発行部数	24,000部
第154号	平成26年10月 2日発行	発行部数	40,000部
第155号	平成26年12月24日発行	発行部数	30,000部
第156号	平成27年 3月20日発行	発行部数	24,000部

## 15 美術に関する研究及び調査

### 日展会館・日展新会館企画実施内容

#### [会館スペースの貸出し]

展覧会場や会議・研究会の場として、会館スペースの貸出しを行った。

#### (展覧会)

名 称	内 容	開催期間・会場	入場者数(人)
第8回プラチナアート 大賞展2014	公募作品(洋画)約30点を展 示	平成26年 5月21日～5月25日 日展新会館	139
第33回DAAJ展 (全日本歯科美術展)	洋画・陶芸作品等約50点を 展示	9月11日～9月15日 日展会館	172
安達雅一作品展 併催 みやび染色教室発表会	染色作品約10点を展示	10月5日～10月6日 日展会館	35
ハンゲル書芸展	ハンゲル書芸作品約30点を 展示	10月9日～10月13日 日展新会館	374
第26回JGS ボタニカルアート展	ボタニカルアートの絵画 作品約200点を展示	10月17日～10月19日 日展会館	735
昭和58年度入学 大東文化大学同期生 書展	書作品約30点を展示	10月23日～10月25日 日展新会館	330
第4回爽創会彫刻展	彫刻作品約60点を展示	10月29日～11月4日 日展新会館	358
相澤實写真展	日本芸術院会員の肖像写真 約85点を展示	11月6日～11月10日 日展新会館	200
「ふるさと田んぼと水」 子ども絵画展2014	子どもの公募作品(絵画) 約120点を展示	11月27日～11月30日 日展会館	158
大岩雄典・小林良平 二人展「passage」	洋画作品約15点を展示	12月7日～12月13日 日展新会館	156
第26回蒼溟書展 教育部 半切・半紙作品	書作品約300点を展示	平成27年 2月20日～2月22日 日展会館	421
大塚きもの・テキスタイル専門学校 デザイン総合科工芸染織コー ス卒業制作展・OB展	染織作品約20点を展示	3月4日～3月8日 日展会館	150
藍芽展	日本画・工芸作品約20点を 展示	3月7日～3月14日 日展新会館	174
第21回獏の会	油彩・水彩・パステル画作品 約50点を展示	3月10日～3月16日 日展会館	320
薬本武則展	洋画作品約20点を展示	3月16日～3月22日 日展新会館	300

(会議・研究会・教室等 使用団体)

藍の会  
 一般社団法人 新極美術協会  
 A. I蒔絵の会  
 芥子園研究会  
 株式会社 日本創芸教育  
 現代水墨画協会  
 現代パステル協会  
 公益財団法人 ヤマハ発動機スポーツ振興財団  
 公益社団法人 日本新工芸家連盟関東地区会  
 公益社団法人 日本彫刻会  
 秀彩会  
 全国水墨画美術協会  
 蒼騎会  
 太陽美術協会  
 谷口勇三研究会  
 朝聞書会  
 東京書学アカデミー蒼溟社  
 東陶会  
 永井画廊  
 日春会  
 白日会  
 レイルリンク 株式会社

[自主企画展]

会館スペースを利用し、自主企画展(入場無料)を開催。

名 称	内 容	開催期間・会場	入場者数(人)
—所蔵作品展— 絵の中の空	日本画・洋画合計11点を 展示	平成26年 4月23日～5月18日 日展新会館	1,295
—所蔵作品展— 初夏	日本画・洋画・工芸美術 合計11点を展示	5月28日～6月29日 日展新会館	798
—所蔵作品展— 涼	5部門合計12点を展示	7月2日～8月10日 日展新会館	716
—所蔵作品展— 街角	日本画・洋画合計11点を 展示	9月2日～10月5日 日展新会館	1,008
—所蔵作品展— Woman—輝く女性たち—	日本画・洋画合計8点を 展示	平成27年 1月20日～2月15日 日展新会館	524
—所蔵作品展— Man—躍動—	洋画・彫刻・工芸美術 合計8点を展示	2月19日～3月5日 日展新会館	207
—所蔵作品展— 平成26年度新収蔵作品展	日本画・洋画・工芸美術・ 書合計17点を展示	3月25日～4月12日 日展新会館	720